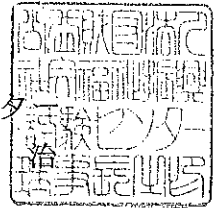




社福振福一 第18号
平成27年4月17日

各都道府県
民生主管部（局）長 様

公益財団法人社会福祉振興・試験センター
理事長 多久島 耕



平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査
派遣対象者の推薦について（お願い）

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当センターの事業運営につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当センターが毎年実施しております標記海外研修を、別添「平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査実施要綱」のとおり実施することとなりました。

つきましては、業務ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、貴管下（中核市も含む）の民間社会福祉施設等に勤務する職員及び施設長について、下記のとおりご推薦いただきたくお願い申し上げます。

なお、ご推薦にあたっては、各班（4班）派遣対象者を各1名ずつご推薦いただき、本研修の趣旨に照らし特定の施設に偏ることなく、できるだけ多くの施設からご推薦いただきたく存じます。また、ヨーロッパ班の障害児・者関係施設の職員の推薦につきましては、ご担当部署の方にお手配いただきますよう、貴部署からご依頼方よろしくお願い申し上げます。

派遣対象者の選考結果につきましては、決定次第、貴職及び派遣決定者の所属施設長あてに連絡いたします（6月下旬頃を予定）。派遣定員の関係から、ご推薦を煩わしながらも参加いただけない場合もございますので、あらかじめご了承賜りますようお願い申し上げます。

記

1 ご推薦いただく対象者・人数

- | | | |
|------------------|-----------------------|----|
| ① ヨーロッパ班・・・・・・・・ | <u>障害児・者福祉関係施設の職員</u> | 1名 |
| ② 北米班・・・・・・・・ | <u>高齢者福祉関係施設の職員</u> | 1名 |
| ③ オセアニア班・・・・・・・・ | <u>高齢者福祉関係施設の職員</u> | 1名 |
| ④ 施設長班・・・・・・・・ | <u>高齢者福祉関係施設の施設長</u> | 1名 |

2 提出書類

(1) 【各都道府県・指定都市（一部社協）が作成】※該当者なしの場合も提出願います。

○ 平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査推薦回答書（指定様式）

(2) 【各対象者ごとに提出】

- ① 平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査参加適格者推薦書
（顔写真貼付。指定様式）
- ② 所属長からの推薦書（指定様式）
- ③ 健康診断書（1年以内の定期健康診断書等、コピー可）
- ④ （あれば）対象者のお名刺 1枚

3 提出〆切

5月22日（金曜日）

※ 該当者なしの場合も、上記2（1）推薦回答書を送付願います。

4 その他

- ① 当センターホームページ（<http://www.sssc.or.jp>）に「実施要綱」及び「選考基準」を掲載しています。

今回お送りした実施要綱は、ご推薦いただく4班分を抜粋した内容であり、ホームページに掲載した実施要綱（児童班を含む）とは一部異なりますので、ご注意ください。

- ② 提出書類のうち、以下3つの指定様式は5月22日（金）までの期間限定で、当センターホームページに掲載しています。

【各県等が作成】○「推薦回答書」（エクセルデータ）

【各対象者ごと】①「参加適格者推薦書」（エクセルデータ）※各班ごと/4種類

②「所属長からの推薦書」（エクセルデータ）

- ③ 今年度から、週刊「福祉新聞」4/27号（㈱福祉新聞社・4/27発行）及び月刊「WAM」5月号（㈱法研・5/1発行）に、当研修の広告を掲載しています。

《照会・提出先》

公益財団法人社会福祉振興・試験センター 福祉第一部

海外研修担当： 加藤（E-mail：kato-kumiko@sssc.or.jp）、水野、鈴木

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-5-6 SEMPOS ビル

Tel：03-3486-7511 / Fax：03-3486-7514

平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査 実施要綱 (抜粋)

1 目 的

民間社会福祉施設等において利用者の処遇等に直接従事している介護職員、生活支援員、保育士等の中堅的職員及び施設長を諸外国へ派遣し、その国における施設サービス及び在宅サービスの内容、方法、技術等について実地に研修・調査（以下「研修」という。）を行い、もってわが国の民間社会福祉施設等における処遇及び施設運営等の向上に資することを目的とする。

2 実施団体

公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「センター」という。）

3 研修実施国(都市)及び研修の内容

(1) 民間社会福祉施設職員

① ヨーロッパ班

ア 研修国(都市)

デンマーク(コペンハーゲン)

スウェーデン(ストックホルム)

イ 研修の内容

行政機関等において福祉行政の説明聴取、障害児・者福祉関係施設の利用者の処遇状況及び障害児・者のための処遇技術等

② 北米班

ア 研修国(都市)

アメリカ(ニューヨーク、ロサンゼルス)

イ 研修の内容

行政機関等において福祉行政の説明聴取、高齢者福祉関係施設の利用者の処遇状況及び在宅高齢者のための処遇技術等

③ オセアニア班

ア 研修国(都市)

オーストラリア(シドニー)

ニュージーランド(オークランド)

イ 研修の内容

行政機関等において福祉行政の説明聴取、高齢者福祉関係施設の利用者の処遇状況及び在宅高齢者のための処遇技術等

(2) 民間社会福祉施設長

ア 研修国(都市)

デンマーク(コペンハーゲン)

スウェーデン(ストックホルム)

イ 研修の内容

行政機関等において福祉行政の説明聴取、高齢者福祉関係施設の運営・利用者の処遇状況及び在宅高齢者のための処遇技術・施設運営等

4 研修・調査実施期間

(1) 民間社会福祉施設職員

① ヨーロッパ班

平成27年 9月 5日(土)～平成27年 9月19日(土) [15日間]

② 北米班

平成27年 9月26日(土)～平成27年10月10日(土) [15日間]

③ オセアニア班

平成27年 9月26日(土)～平成27年10月 8日(木) [13日間]

(2) 民間社会福祉施設長

平成27年 9月 1日(火)～平成27年 9月13日(日) [13日間]

5 派遣対象者

(1) 民間社会福祉施設職員

次の①から③に掲げる民間社会福祉施設等に勤務する介護職員、生活支援員、保育士、看護師等直接処遇職員(管理的業務を専任で行っている者を除く)で、平成27年9月1日現在当該施設において勤務年数5年以上(ただし、同一法人内での当該施設の異動は合算可)、年齢30歳以上55歳未満の者であって、過去においてセンターの海外研修に参加したことのない者で、かつ心身ともに健康で、協調性があり、研修期間中団体行動ができる者。

さらに、各所属施設長を経て各都道府県(一部社会福祉協議会による)、指定都市民生主管部(局)長から推薦された者。

① ヨーロッパ班

ア 障害者自立支援法、身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法による障害者関係施設
(障害者支援施設、障害福祉サービス事業を行う施設等)

イ 生活保護法による救護施設

ウ 児童福祉法による障害児関係施設(障害児入所施設等)

※ 精神障害者関係は対象外

② 北米班

介護保険法及び老人福祉法による高齢者関係施設

(指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定通所介護を行う施設等)

③ オセアニア班

介護保険法及び老人福祉法による高齢者関係施設

(指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定通所介護を行う施設等)

(2) 民間社会福祉施設長

平成27年9月1日現在、下記の民間社会福祉施設等で施設長として勤務し、年齢65歳未満の者であって、過去においてセンターの海外研修に参加したことのない者で、かつ心身ともに健康で、協調性があり、研修期間中団体行動ができ、各法人理事長等を経て各都道府県(一部社会福祉協議会による)、指定都市民生主管部(局)長から推薦された者

介護保険法及び老人福祉法による高齢者関係施設

(指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定通所介護を行う施設等)

※ 提出書類

- ア 平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査 推薦回答書
- イ 平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査 参加適格者推薦書（顔写真貼付。指定様式）
- ウ 所属長からの推薦書（指定様式）
- エ 健康診断書（1年以内の定期健康診断書等、コピー可）

6 研修の方法等

研修は、原則として1都市4～5日間とし、研修初日には現地における行政説明聴取、2日目以降は1日につき1～2か所で研修を行う。

なお、航空機はエコノミークラスを利用し、宿泊は2人1部屋とする。

7 募集方法

センターから各都道府県、政令指定都市等へ推薦依頼し、各法人理事長等を経て各都道府県等からセンターへ推薦する。

8 派遣団員の決定及び人員

派遣団員は、前記5により都道府県（一部社会福祉協議会による）、指定都市民生主管部（局）の長及び日保協の長より推薦された参加希望者の中から、センターにおいて別紙「民間社会福祉施設職員等海外研修・調査派遣者選考基準」により選考のうえ決定し、その結果を当該民生主管部（局）長及び各法人理事長等あて通知するものとする。

なお、派遣団員は民間社会福祉施設職員3班（ヨーロッパ班・北米班・オセアニア班）は各班13名、民間社会福祉施設長班は11名とする。

9 参加費用

派遣団員は、この研修に要する費用のうち、次に掲げる費用を負担するものとする。支払い方法については派遣決定通知で案内する。

- (1) 1人 100,000円（民間社会福祉施設職員ヨーロッパ班、民間社会福祉施設職員北米班）
1人 50,000円（民間社会福祉施設職員オセアニア班、民間社会福祉施設長班）
- (2) パスポート発給に伴う費用
- (3) 当研修に係る日本国内往復費用及び宿泊費用
- (4) 海外旅行傷害保険料
センターにおいては、派遣団員の海外旅行傷害保険の付保は行わないので、各自の責任において海外旅行傷害保険に加入する。
- (5) 個人的費用（飲料代、自由行動費、郵便電話料等）
- (6) 結団式及びオリエンテーションに出席するための交通費等の費用

10 結団式及びオリエンテーションの開催

派遣団員に対しては、平成27年7月24日（金）に結団式及びオリエンテーションを開催し、海外研修に必要な事項の連絡及び渡航手続き等について説明等を行うものとする。派遣決定者はこれに出席することを条件とする。

1 1 報告書の提出

派遣団員は、研修した事項を報告書としてまとめ、指定する期日までにセンターに提出するものとする。

1 2 研修の成果について

派遣団員は、研修の成果について、所属施設並びに地域等において幅広く伝えるように努め、福祉サービス及び地域福祉活動の向上に寄与するものとする。

※ 提出された書類は一切返却しないものとする。

(別 紙)

平成 27 年度 民間社会福祉施設職員等海外研修・調査
派遣者選考基準

都道府県・政令指定都市等及び社会福祉法人日本保育協会からの推薦者に対し、海外研修の普及効果等を考慮の上、下記の基準項目により派遣者を選考することとする。

(選考の基準項目)

- ・ 実施要綱上の派遣対象者の条件を満たしている者
- ・ 各都道府県・政令指定都市を平準化させる
- ・ 過去派遣の少ない都道府県・政令指定都市を優先する
- ・ 過去 5 か年に派遣した同一法人からの申込者は劣後する
- ・ 推薦理由、資格及び経験年数等を考慮する

(別紙「ヨーロッパ班」様式)

平成27年度 民間社会福祉施設職員等海外研修・調査
参加適格者推薦書【ヨーロッパ班(障害児・者福祉関係)】

写 真
(4cm×3cm)
注)6か月以内に
撮影したもの

標記 海外研修・調査 派遣適格(希望)者を、次のとおり推薦いたします。

申 込 者	フリガナ		性	男・女	生年月日 (年号及び西暦)	昭和 年 月 日 (西暦 年)	年齢	歳 (9/1現在)	
	氏 名		別						
	フリガナ								
	自宅住所	〒							
	連絡先	〔電話〕			〔携帯電話〕				
	E-mail								
	最終学歴					煙草の嗜好 (該当の□を塗りつぶす)	<input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 禁煙		
	現施設における「職種」	(例:介護職員、生活支援員)				(あれば) 現施設における「役職」	(例:課長、主任)		
	現施設での勤務年数 (9/1現在)	年 月	同法人内での 当該施設通算年数 (9/1現在)		年 月	社会福祉施設 通算経験年数 (9/1現在)	年 月		
	現職に至るまでの主な職歴 (5つまで)								
	社会・介護福祉士資格の保有状況	資格保有の有無 (該当に○印) 有・無	有 の 場 合	〔資格種類〕 該当に○印 社会福祉士・介護福祉士		〔登録番号〕 号 〔登録年月〕 平成 年 月 登録		← 両資格保有している場合は、番号・年月ともそれぞれ2段書きで記入(上段:社会、下段:介護)	
	他機関の海外研修への参加経験	参加の有無 (該当に○印) 有・無		〔実施機関〕 〔研修先(国名)〕		研修期間 日間			
	応募理由 (別紙添付可)								
	添付書類	「健康診断書」(1年以内の定期健康診断書等・コピー可)							
申 込 者 所 属 法 人・ 施 設	フリガナ				フリガナ				
	所属法人名				現所属施設名				
	施設種類	【該当に○】知的障害関係施設・身体障害関係施設・障害児関係施設・その他()							
	フリガナ				フリガナ				
	法人理事長氏名				施設長氏名				
	フリガナ				フリガナ				
	法人所在地	〒			施設所在地	〒			
連絡先	〔電話〕 〔FAX〕			連絡先	〔電話〕 〔FAX〕				
添付書類	「施設長等の推薦理由書」(様式あり)								

(注)これに記載の個人情報、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが行う事業目的達成のために使用するものであり、法令に定める場合を除き、他の目的への利用及び第三者に提供することはありません。

平成27年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査 所属長からの推薦書

		作成日	平成27年	月	日
施設名 及び所在地 (法人名も記入すること)	<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin: 20px auto; text-align: center; line-height: 100px;">職印</div>				
代表者 (役職・氏名)					
電話番号					

標記海外研修・調査の参加について、以下の者を推薦します。

フリガナ					
氏 名					
所属施設名					
現施設の 採用年月	昭 和		年	月	※ 現施設の勤務年数が <u>5年未満の場合は、</u> <u>同一法人における採用年月</u> を記入
職 種	(例:介護職員、生活支援員等)				
役 職	(例:主任、ユニットリーダー等)				
推薦理由 (欄に収まらない場合は、 別紙添付可)					

《作成上の注意》

- ① 申込者1名につき、1枚作成する。
- ② 証明者は、原則として「所属施設長」が行う。

ただし、「施設長班」申込者本人が「施設長」の場合は、自己証明ではなく、同等以上の役職の方が証明する。

平成27年度
民間社会福祉施設職員等海外研修・調査

日 程 表

- ヨーロッパ班（障害児・者福祉関係 職員）
- 北米班（高齢者福祉関係 職員）
- オセアニア班（高齢者福祉関係 職員）
- 施設長班（高齢者福祉関係 施設長）

◇この日程は予定です◇

訪問する都市及び訪問先の施設等は予定であり、変更になることがあります。詳細な日程表（訪問先施設等を含む）は、派遣決定者へオリエンテーションの際にお知らせします。

平成 27 年度民間社会福祉施設職員等海外研修・調査 日程表

《ヨーロッパ班／障害児・者福祉関係》

日次	月 日	発着地／滞在地	時間	交通機関	行 動	食事
1	9月5日 (土)	成田空港発 コペンハーゲン着	11:40 16:05	SK984	成田空港に集合、空路コペンハーゲンへ (時差-7時間、所要11時間25分) 着後、専用バスでホテルへ移動 (コペンハーゲン泊)	機 機 夕:○
2	9月6日 (日)	コペンハーゲン	午前 午後	専用車	コペンハーゲン市内文化施設視察 資料整理 (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	9月7日 (月)	コペンハーゲン	午前 午後	専用車	●SQCによる講義 ●モンフーセッ (知的障害者のための デイアクティビティセンター) ※過去に音楽を通 じた交流実績あり。 (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
4	9月8日 (火)	コペンハーゲン	午前 午後	専用車	●オレスンスホイ (生活トレーニングホーム) ●ヒュレボー (グループホーム) (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
5	9月9日 (水)	コペンハーゲン	午前 午後	専用車	●ヨブ&アクティビテット センターノア (身体的・知的機能低下の成人に対する 作業訓練とアクティビティセンター) ●アシスティヴ デヴァイス センター (補助器具センター) ※器具の体験利用可能。 (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
6	9月10日 (木)	コペンハーゲン	終日		自由行動 (コペンハーゲン泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
7	9月11日 (金)	コペンハーゲン発 ヘルシンキ着	8:05 10:40 午後	SK1708	空路、ヘルシンキへ (時差1時間、所要1時間35分) 着後、ヘルシンキ市内文化施設視察 (ヘルシンキ泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
8	9月12日 (土)	ヘルシンキ ヘルシンキ発	終日 夕刻	クルーズ	自由行動 シルヤラインの豪華船で移動、ストックホルムへ (時差1時間、所要17時間30分) (船中泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
9	9月13日 (日)	ストックホルム着	午前 午後	専用車	ストックホルム文化施設視察 自由行動 (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
10	9月14日 (月)	ストックホルム	午前 午後		●SQCによる講義 資料整理 (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
11	9月15日 (火)	ストックホルム	午前 午後	専用車	自由行動 ●フットインラブ センター (リハビリテーションセンターおよびショートステイ施設) (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
12	9月16日 (水)	ストックホルム	午前 午後	専用車	●クングスホルメンス ダーグリガ ヴァルクサム ヘート (デイアクティビティセンター) ※過去に職員との意見交 換会の実績あり。 ●スパーゲルン (デイアクティビティセンター) (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
13	9月17日 (木)	ストックホルム	午前 午後	専用車	●コンテナロータリ (障害者が作ったものを販売 する店) ●グラーダ ゴンズ ダーグリガ ヴァルクサムヘート (障害者の 働くレストラン) 資料整理 (ストックホルム泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
14	9月18日 (金)	ストックホルム発 コペンハーゲン着 コペンハーゲン発	13:55 14:40 15:45	SK17 SK984	空路成田空港へ (コペンハーゲン乗り継ぎ) (所要45分) (機内泊)	朝:○ 昼:× 夕:機
15	9月19日 (土)	成田空港着	09:35		(時差+7時間、所要10時間55分) 到着、解散	朝:機

※利用予定航空会社: SK/スカンジナビア航空